

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 月 日	
所属部局・職	京都大学院・修士1年
氏名	菊池 美里

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
日本、屋久島
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
屋久島フィールド実習
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 26 年 10 月 18 日 ~ 平成 26 年 10 月 24 日 (7日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
香川大学 篠原渉氏、京都大学 工藤洋氏
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)

写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。

今回の実習では屋久島におけるシダ植物の配偶体と孢子体の種構成について調査を行った。まずシダ植物が豊富な宮之浦川、女川、花揚川で配偶体・孢子体を採集し、その後孢子体については形態観察によって種を同定した。その結果、孢子体については各地点で20~40もの種が存在し、さらに場所によって種の分布が異なっていることが分かった。配偶体については形態による種の同定が困難であるため、次のゲノム実習で遺伝子の塩基配列から種を同定した後結論を得る予定である。この実習ではシダを採集し形態を観察する中で、シダ植物には木生で巨大なものや茎が二叉分岐しているもの、葉が複雑に切れ込んでいるもの、ニラのような葉のものなどといった多様な形態があることを実感した。この経験によって以前よりも自然を見る目が豊かになったと感じている。



6. その他 (特記事項など)

<平成 26 年 5 月 28 日制定版> 提出先: report@wildlife-science.org

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

--